



議会だより

創刊号

# みなべ

平成17年2月1日

発行	みなべ町議会
編集	議会広報特別委員会
	〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742
TEL	0739-72-1334
FAX	0739-72-1335



合併後初の出初式

12月定例会

みなべ町議会の新体制……………P2・3

一般会計予算52億9,700万円……………P4・5

活発な予算案審議の内容は……………P6・7

一般質問(5名が登壇)……………P8~12

# 会のスタート

昨年10月24日に県下初の合併後の町議会議員選挙が行われ、16名の新議員が選ばれました。続いて11月の臨時議会で議員の常任委員会配属・12月の定例議会で補正予算案と助役・収入役の人事案件を議決いたしました。

新町「みなべ」の発展と町民の皆さんの幸せを願い、議員全員一丸となり、誠心誠意努力してまいります。



副議長

小川 猛



議長

井上 光博

今回、みなべ町議会議員各位のご推挙をいただき、もとより浅学非才の私が副議長の重責を担わせていただく事になり、身の引き締まる思いであります。

議員、職員始め町民の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、議長の補佐役として副議長の職務をしっかりと認識して、議会運営に、新町発展のために努力する事をお約束しまして就任のご挨拶とさせていただきます。

このたび議長に就任させていただくことになりました。もとより浅学非才の私でありますが責務の重さを痛感しています。町当局と好い緊張感を保ちながら議会の果たすべき役割を再認識し、新しい町づくりのために全力を挙げて取り組んでまいります。

町民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## 事務組合議会議員

### 特別委員会委員

市町村が行う事務の一部を共同で処理するために設置したものを

○田辺市周辺衛生施設組合議会議員

平松 泰一  
寺本 三直  
園出 俊明

○日高郡町村及び御坊市老人福祉施設議会議員

平松 泰一

○日高広域消防事務組合議会議員

寺本 文雄

○公立紀南病院組合議会議員

井上 光博  
中家 克己

○田辺周辺広域市町村圏議会議員

井上 光博  
小川 光猛

○みなべ町梅の里まちづくり政策調査特別委員会（議長を除く全議員）

委員長 小川 出俊明  
副委員長 園出 俊明  
以下13議員

# 新生「みなべ町」議



村上頼男 議員



岡田政吉 議員



岡 和雄 議員



中家克己 議員



平松泰一 議員



田中昭彦 議員



下村 勤 議員



宮崎常二 議員



北谷清治 議員



竹本栄次 議員



山中邦夫 議員



寺本文雄 議員



寺本三直 議員



園出俊明 議員

(議席順)



委員長  
副委員長

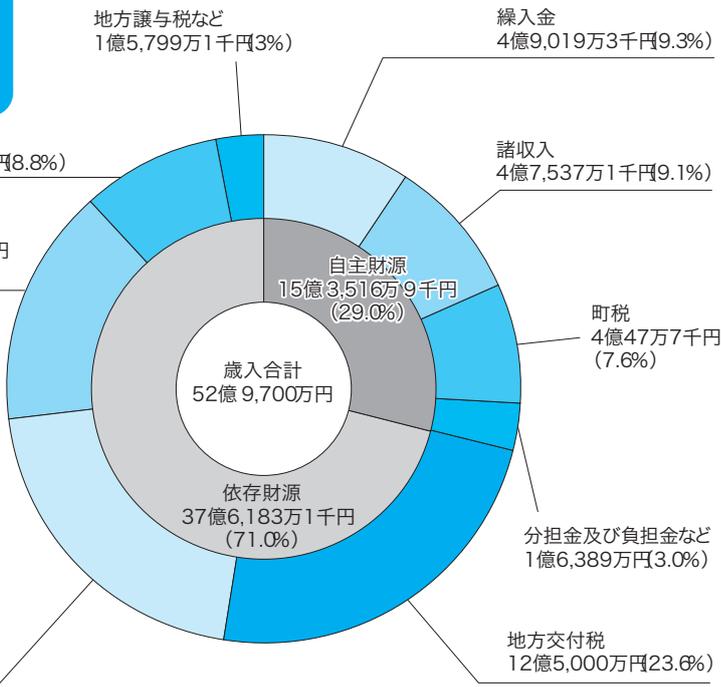
山寺岡平下宮  
中本田松村崎  
邦文政泰常  
夫雄吉一勤二

議会運営  
委員会

# 一般会計予算

# 52 億 9,700 万円

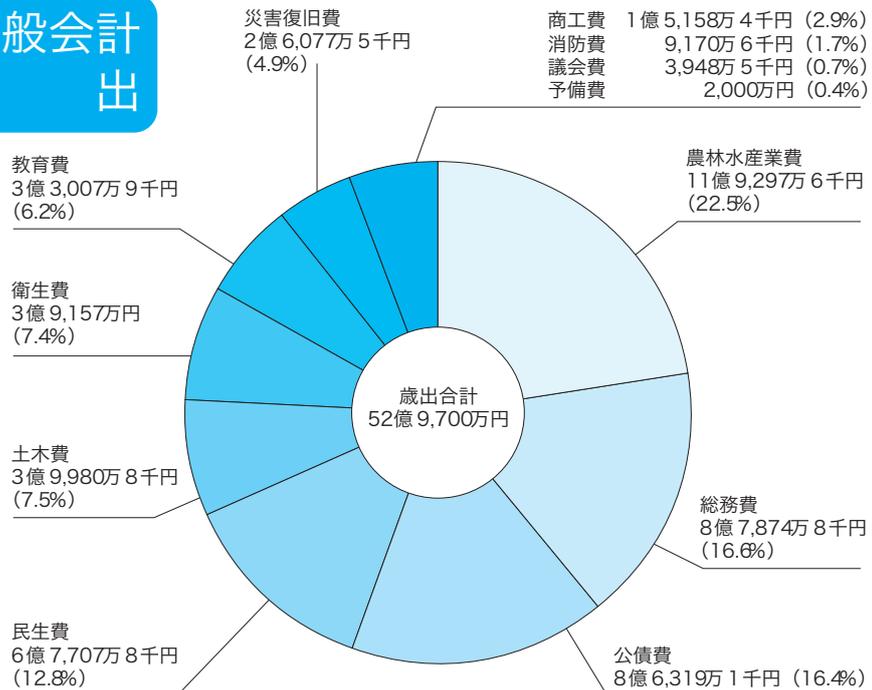
## 一般会計 歳入



平成16年度第一回定例町議会では、平成16年度一般会計と特別会計予算案の10議案のほか、同意案件と規約等の改正案が上程されました。いずれも慎重審議の結果、可決および同意されました。

又、最終日に提出された助役と収入役を選任する議案では助役に小谷芳正氏（筋・企画管財課長）、収入役に花光均氏（芝・出納室長）が、いずれも同意されました。

## 一般会計 歳出



今回可決された予算は平成16年10月〜平成17年3月までの金額となります。旧町村で平成16年9月までに執行された分を除き、新たに補正され

た分を加えての予算です。（平成16年10月〜12月までの暫定予算額も含んでいます）予算審議の主な内容は六、七面にあります。

# 平成16年度みなべ町予算

会計名	歳入	歳出
特別会計	31億5,243万5千円	31億5,243万5千円
国民健康保険事業	7億8,700万円	7億8,700万円
老人保健事業	6億8,173万8千円	6億8,173万8千円
介護保険事業	5億2,281万8千円	5億2,281万8千円
住宅新築資金等貸付事業	1,937万6千円	1,937万6千円
鶴の湯事業	8,101万8千円	8,101万8千円
農業集落排水事業	7億154万3千円	7億154万3千円
公共下水道事業	3億120万4千円	3億120万4千円
簡易水道事業	5,773万8千円	5,773万8千円
水道事業	7,303万6千円	7,241万4千円

**監査委員の選任について**  
 新町発足に伴い、寺西松男さん（西本庄）、議会議員・平松泰一さん（東岩代）を新たに監査委員として選任することが同意されました。監査委員は識見を有する方1人と議会議員のうちから選任された方1人の計2人です。

**田辺周辺広域市町村圏組合を組織する地方公共団体の数の増減及びこれに伴う規約の変更について**  
 田辺市周辺衛生施設組合を組織する地方公共団体の数の増減及びこれに伴う規約の変更について  
 公立紀南病院組合を組織する地方公共団体の数の増減及び公立紀南病院組合規約の変更について

5月1日の田辺市、龍神町、中辺路町、大塔村、本宮町の合併に関連して、各町村及びみなべ町が加入している各組合組織の規約なども変更されることとなります。  
 その変更にあたって上記の3議案が議会で可決されました。

**田辺市ほか5カ町村青少年補導センター事務組合からの脱退について**  
 町として独自に「青少年センター」を設置して対応することになります。しかし、受け皿が明確にならないと補導センターからの脱退はできないということで活発な質疑がおこなわれました。  
 その中で、補導員には女性も選任すること、周辺市町村との連携を十分することなどの要望が出されました。  
 補導員による町内パトロールなど、きめ細かな体制整備をおこなうことが明らかにされました。  
 その上で、3月31日をもって脱退することが可決されました。

## 一般会計歳出の主な事業と予算額

**議会費** 3,948万5千円  
**総務費** 8億7,874万8千円  
 地域公共ネットワーク基盤整備事業費 1億9,406万5千円  
 移動通信用鉄塔施設整備事業費 4,600万円  
**民生費** 6億7,707万8千円  
 老人福祉費 1億8,369万5千円  
 保険医療費 1億608万9千円  
**衛生費** 3億9,157万円  
 田辺市周辺衛生施設（清浄館）組合負担金 7,583万4千円  
 一般廃棄物収集運搬処理委託料 3,258万1千円  
**農林水産業費** 11億9,297万6千円  
 日本一うめ産地支援事業補助金 8,897万2千円  
 南紀用水事業費 3億1,401万1千円  
 黒潮フルーツライン区域農用地総合整備事業負担金 7,008万円

**商工費** 1億5,158万4千円  
 観光施設整備事業工事請負費 6,618万1千円  
**土木費** 3億9,980万8千円  
 道路新設改良費 1億9,392万6千円  
**消防費** 9,170万6千円  
 日高広域消防事務組合負担金 4,830万円  
 木造住宅耐震診断改修補助金 930万円  
**教育費** 3億3,007万9千円  
 体育施設費（西本庄グラウンドトイレ等改修工事他） 2,684万9千円  
 南部・岩代小学校、南部中学校パソコン教材購入費 3,491万円  
**災害復旧費** 2億6,077万5千円  
 現年発生水産施設災害復旧費 1億4,675万8千円  
**公債費** 8億6,319万1千円

# 議 案 審 議

平成16年度第一回定例会は12月9日から22日までの14日間の会期で開きました。  
議案審議では一般会計予算の主な審議内容をお知らせします。

## コミュニティバス

**Q** この事業の今後の取り組みと方向性はどのようなのか。

**A** 現在のところ白紙の状態でありませう。今後バス試行運転検討委員会を設置し、その中で進めていきます。

## 日本一の うめ産地 支援事業

**Q** 今年で支援事業が終わるが、今後の取り組みは。

**A** 改植等、必要な園が多々ありますので県にも報告をしています。県担当課としても現状を踏まえ、事業の継続できる方向で財政課と協議されていると聞かれます。

## 観光施設整備事業

**Q** この事業の計画はどのようにするか。

**A** 一つは観光看板の設置事業で、阪和自動車道「みなべーC」の近くへ町をPRする看板を設置し、観光客等の誘致を図っていきます。

もう一つは、今回世界遺産登録された熊野古道に接し、古道歩きメインルートである中辺路ルートへの自動車による玄関口となった本町の堺森の鼻に「広域観光案内板」、「休憩施設及び公衆トイレ」を整備し、観光客等の誘致を図っていくものです。

## 公立紀南病院 運営分賦金

**Q** 今後の負担金についてどうなっていくのか。

**A** 運営分賦金については大きな変動はありませんが、18年度から金額が上がってきます。医療機器の償還が始まります。その償還は5年で終わる予定です。

## 県道改修(駅前広場)

**Q** 南部駅前改修は今後どのように進むのか。

**A** 遅れています。県としては基本的に17年度中に完成を図っていく考えと聞かれています。



観光施設整備予定地(森ノ鼻)



改修される駅前広場

## 畜産経営環境 整備事業

**Q** この事業はどのような内容のものか。又、どのような事業をするのか。

**A** 町・地元区・業者の3者による協定書に基づいて事業を実施しております。家畜のフン尿処理の整備事業であります。これは浄化処理施設の改造工事と雨水が浄化槽に流れ込まない様に排水施設の改良事業であります。これによって、下の道免

池に浄化された水が流される事になり、根本的な解決が図られると期待しています。

## 児童の通学対策

**Q** 龍神バスの受領線が廃止されたが、今後どのように対応していくのか。

**A** 派出所の協力もいただいておりますが、その後の対応につきましては、町長から委嘱された委嘱員の方によって登下校の安全確保に努めていきたい。

## 高齢者筋力向上 トレーニング

**Q** 介護保険制度見直しで軽症者がサービスを受けられなくなるようですが、その先取りですか。

**A** 介護保険サービスではなく、介護予防事業を行う方針が示されています。18年度に制度が変わって一気に体制とることにはならないので準備期間が必要です。国のモデル事業の指定を受けて、今年度から取り組みを始めました。

## 老人憩いの家

**Q** 二子の里老人憩いの家が16年度で閉鎖されるが、引き続き存続しないのか。

**A** 17年3月まで現行通り実施します。町民の方から憩いの家でのデイサービスを続けてほしいとの要望もあり、今後社会福祉協議会に相談のつてもらい、協議をし態度決定をしたい。

## 災害復旧

**Q** 23号台風による海岸線の復旧は。

**A** とりあえず、応急に砂を撤去しております。今後、水路から波が逆上する恐れがあると考えられるので、検討していきたい。

**Q** 堺川付近の波の対策は。

**A** 堺川の導流堤でありますが、その付近をなんとかして改良していけたらと思っています。検討をし、解決の方向に向けて進めていきたいと思っています。

## 機能訓練

**Q** 旧南部町保健福祉センターで実施していたが、今後どうなるのか。

**A** 4月に清英会の特養がオープンする予定であります。その中で、特養の事業だけでなく、機能訓練も含んだデイサービスを行なうようになっています。



老人憩いの家



堺川河口

一般質問は12月14日に5人の議員が行いました。質問と答弁の要旨を発言順に掲載しました。

(質問者から提出された原稿どおり掲載しています)



寺本三直 議員

## 小倉谷 農免農道の新設

### 質問

旧南部川村当時から採択に向けて取り組んでいたと思いますが小倉谷農免農道の新設の事業であります。16年5月議会で調査費が80万円(村20万円県60万円)つき実施されていますが調査の内容と経過はどうなっていますか。

### 町長

調査は事業の適否性とか計画のあり方、概算事業費等に調査されていくわけですが、順調に進んでいると思っています。その結果でありますが、県担当者や町が打ち合わせをして連携をとっています。その進み具合により事務をしているわけです。11月16日に新規事業認可申請を提出しています。これが今の状況であります。

### 質問

土地改良事業の開始について当時村長が提案され、村議会で可決されました。この意味するところはなにか。

### 町長

事業を興す場合には団体意思を決定するために議会の議決が必要であり

これがなければ申請も施行もできない大きな意味があるわけです。

### 質問

17年度採択への見通しはどうか。また17年度当初予算に盛り込まれることもあるのか。

### 町長

私は採択されるつもりで進めています。むつかしい状況下でありますがいけると思っております。予算については県、国の予算の中含まれるかどうかで判断するわけですが、正式な通知がなくても大方の見通しがつけば概算で頭出しをしていきたい、このように思っています。



東本庄の小倉谷地区

## 第2庁舎の 防犯体制

### 質問

第2庁舎の防犯については常に万全な方法で実施されていると思いますが、どのような防犯対策をしているのか。

### 総務課長

機械を設置して保全業務を警備会社業務委託をしています。機械警備でありますから無人で行っています。仮に夜間侵入者があった場合、各所に設置してあります感知センサーが稼働して警報機が鳴り、電話回線を通じて警備会社へ通報されます。保安要員を確保していますので、即時現場に急行していただけることになっております。警備会社から警察へも通知され、また役場の防犯担当の総務課にも通報されます。また停電の時には警備員を配置する事になっております。



村上頼男 議員

# 南部小学校 1号棟 校舎改築について

## 質問

南部小学校で現在使用している1号棟校舎は、現在では、県下で最も老朽校舎であると言われている。又、建築してより校舎の雨漏れがひどくその原因もわからなかったそうですが、その通りですか。

雨漏れなど永く続くと鉄筋コンクリートなどに異変はないか。地震があるかもしれないと言われるなかで地震による避難について、子供達は3階に登ると答えているが老朽校舎であるなかで安全かどうか。

町長が議会初日、所信表明の中にも触れておりましたし、立候補の公約の中に危険校舎は改築すると明言しましたが、その通りですか。それなら具体的方針を明示して下さい。また、将来を担う子供達を預かる学校こそ完全であり安全な環境を一日も早くつくりあげたいと思いますが…。

## 教育長

老朽校舎と考え方が正しいと思います。

東南海地震の起こるまでに対応を町長にお願いをしたい。

雨漏れについては、モルタル自身も痩せた部分とか老化した所などありまして大規模対策を実施し、雨漏れ防止につとめました。昭和43年、昭



南部小学校 1号棟

和55年、平成3年と修理事業をしました。コンクリートの状況は、雨漏れなどにより中性化が進行していると言われています。そんな中で地震か

ら避難するための3階に登るのが正しいかとの質問は津波対策の訓練の一つです。

## 町長

具体的方針でありませんが、教育施設整備につきましては、施設は町の管理であり取り組まなければならない問題と認識しています。今後の取り組み方針は1号棟、岩代小など老朽校舎の認定を申請し進めたい。建設にあたり建築費の財政計画、これは合併特例債など充当したいと思っています。建築については、学校の関係者、建設委員会などつくっていただき意見や智慧を出し合って建設計画を立てたい。

## 質問

合併特例債を利用して1号棟、岩代校舎を進めたいという言葉をいただきまして今後教育委員会との関係者共々一致団結してやって下さい。建築にあたり欠陥のないよう指導をお願いしたい。

## 町長

はい。わかりました。

# ヘリポートの設置 (臨時場外離着陸場)



下村 勤 議員

緊急災害時に

大いに役立つ

ヘリポート

質問

去る10月23日新潟県中越地方で、震度6強という大地震が起こりました。

この中越地震で大きな被害が発生した山古志村では全域の約60世帯、2千2百人に避難指示が出されました。道路や通信が途絶し陸の孤島に陥りました。村内は行き来不能になり村全体が壊滅状態、すべてのインフラと村人の財産が一度に失われました。

又、今年は何年にもなく観測史上最多の10回も台風が日本に上陸し各地に猛威を振るい、尊い命や財産を奪い農林水産物をはじめあらゆる分野に甚大な被害をもたらしました。この様な予期しない大きな災害に威力を発揮されたのは防災ヘリでありました。

県下には災害ボランティア団体として和歌山県民間救助隊があり6人乗り4人乗り2人乗りのヘリコプターがそれぞれ1機ずつあります。近い将来高い確率で発生が予想される東南海・南海地震では紀南地方の各市町村は陸の孤島となるのが懸念されています。今回の大きな災害を教訓

に防災対応の臨時場外離着陸場ヘリポートの設置を要望いたします。県下にも何ヶ所か設置されている市町村があり県の補助も付くと聞いています。

町長

ヘリポートの場外離着陸場の設置につきましては、特に災害の場合、既に和歌山県の地域防災計画の中で協議の上、ヘリポートの発着予定地というのを定められています。

各学校グラウンドや運動広場などであり、一応現時点では予定されています。常時使用できるヘリポートと言うことでありますが、あらゆる災害に対応できる離着陸場が必要であります。今ある所が災害に必ずしも使用できるかどうかということもあります。

災害状況に応じて臨機応変の措置がとられるようにいかなるを得ないということになります。そのようなヘリポートの発着場を造っていきたく考えています。特に災害とすることになれば臨時的に使用される所を完璧にしておく方が効果的だと思います。常時ヘリポートを造っておくということにつきましては今後の課題として受け止め検討してまいります。



高城地区に設置されているヘリポート



中家克己 議員

# 町民の しあわせと平和

## 質問

憲法「改正」の動き、イラクへの派兵、年金消費税、介護保険、義務教育費、保育の措置費など。

そして、地方自治体には「三位一体の改革」、地方交付税の削減など地方自治やふる里を破壊させるような政治情勢がある。

合併みなべ町スタートにあたり平和を守り、清潔・公正・親切的な政治姿勢で何よりも町民のくらしを守り町の産業を発展させるためには平和を守らなければならない。どんなことがあっても武装した軍隊を先に他国に派兵するようなことは第2次大戦を知る者としても許されないうことである。

その上で希望あるみなべ町づくりをして行くには町長の言われる清潔で公正・親切的な政治姿勢の徹底が必要である。町長始め全職員、



議員が殊に公共事業など補助事業には、「ただ酒を飲むな」の規律が大切である。町民の代りに役場で事務をする人が

地方公務員、プロだから誰にでも親切に、町長室も立派だがもっと庶民の入り易い町長室に改造すべきだと思う。

## 町長

武装した軍隊を外国へ出すことは私の思いも寄らないことが現実になっていると思っております。警察予備隊、保安隊、自衛隊に変

わってきました。専守防衛が目的でありイラク派遣は国を守る意味からしても拡大解釈も限度以上だと感じております。

イラクで自衛隊員に犠牲者を出してはならない。経験した者として戦争ほど馬鹿なことはないと考えております。平和維持のため、私は町民を守る立場で町政をやっていきたいと思っております。

政治姿勢の問題ですが、全職員優秀な職員だと感じておりますが、登庁式で地方公務員で、町職員である前に立派な人格識見を備えた人間であると申し上げております。絶対にならないとは言えない誘惑、迷いのとき各自の強い意志がそれを拒否することができるよう指導監督してまいります。

## 町の一体化のために

### 質問

合併みなべ町の一体化、国道424号線の改修が一番の課題で、町民の交流、文化、教育、産業、経済、福祉すべての面で重要である。2005年度滝島之瀬間の改修計画と予算配分は。

## 町長

みなベインター開通と同時に清川まで改良をと運動してきましたが残念に思っております。滝島之瀬地籍調査も完了、16年度現在3億3千万でございましたので、17年度当初は4〜5億ぐらいと観測しております。



工事中の国道424号（滝地内）

# 南部小の改築 津波の避難場所としても



山中邦夫 議員

## 質問

近い将来発生する東海地震による津波、海岸部では避難場所が問題になります。

近くに安全な避難場所を確保するためにも南部小学校の建て替えを急ぐ必要があるのではありませんか。

津波が発生したとき、小学生はもちろん、中学生と周辺住民の避難場所になります。又、休日や夜間にも周辺住民の避難場所として利用できるように屋外に非常階段をつけるとか、屋上に備蓄倉庫をつくるなどの工夫が必要だと思いますが。

## 地域の避難場所として改めて認識

### 町長

南部小学校を建て替える必要のあることは、防災面から言っても教育環境の面におきましても必要と判断しています。

その上に、今指摘ありましたように地域の避難場所としての意味があると言ったことを改めて認識させていただきました。

それも含めまして、この問題に取り組んでまいります。



南部小学校1号棟

## 「三位一体改革」について

### 質問

三位一体改革について、「そもそも地方にもつばら国の財政赤字の責任をしわ寄せするものではないか」、「銀行は何兆円もの税金を入れて救うのに、住民とじかに接する、住民サービスに直結する地方を危機的状況に追い込んでいいのかわ」と怒る人もいますが町長の考えはどうですか。

## 地方へのしわ寄せだ

### 町長

国の赤字財政のしわ寄せを地方へ寄せてきているということは、私もそのように思っています。

金融機関に対する公的資金の投入も国策上やむを得るところがあると思いますが、一企業の救済だと思えます。やはり地方の方へ重点を置いてほしいという思いはあります。

## 新町の財政計画の見直しは

### 質問

地方交付税の削減について、合併して地方交付税の計算方法が少し良い位では追いつかないような

削減ではないか。

合併時に明らかにされた新町の財政計画、見直す必要はありませんか。

## 部分的な修正必要

### 町長

合併したら地方交付税10年間保証するということだったが、実際は毎年下がってきています。

合併協議会で明らかにされている財政計画、これはこのままでは行かないことが事実になっていきますので部分的な修正を行います。

# 常任委員会の所管事項は 次のとおりです

## 総務文教委員会

6人

委員長 寺本文雄  
副委員長 山中邦夫

町の総合計画、財政、町有財産の管理、町税の賦課徴収、情報、消防防災、交通対策、地籍調査、教育施設の管理、教育文化の向上、生涯学習施設の管理、他の委員会に属しない事務等についての事務並びに調査及び議案、請願、陳情等の審査を担当します。



(左より) 田中、下村、山中、寺本<sub>次</sub>、北谷、小川の各委員

## 福祉環境委員会

5人

委員長 平松泰一  
副委員長 寺本三直

社会福祉、保健衛生、保険、介護環境衛生、緑地公園の管理、水道管理、下水道整備等についての事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を担当します。



(左より) 岡、寺本<sub>三</sub>、平松、中家、園出の各委員

## 産業建設委員会

5人

委員長 岡田政吉  
副委員長 村上頼男

農林、水産、商工、観光の振興、都市計画、道路橋梁河川の新設改良及び維持管理、住宅建設維持管理、災害復旧等についての事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を担当します。



(左より) 井上、竹本、岡田、村上、宮崎の各委員

# 梅の里まちづくり 政策調査特別委員会

梅の里まちづくり政策調査特別委員会設置の趣旨として、一つには行政の事業計画の中で、特に重要なプロジェクト事業については、原則的には所管の常任委員会で調査研究を行うこととなります。

しかし、最終的には、「一議員」として判断することになり、全体の経過等をきちっと把握しておくことが最も重要なことでもあります。

したがって、このような条件整備を考えますと、全員構成による特別委員会方式が望ましいこととなります。

二つには、地方分権の理念は「自己決定」と「自己責任」と言われていることについてはご承知のことと思います。これからの地方分権時代に向けては、議会及び議員は責任ある地域政治を進めていくことになり、そのための「政策研究」と「政策提言」が求められると言ったことでもあります。

このような時代に向けて、政策マン型議員の意識改革が求められますので、全議員が能動的な活動を展開していくことによって、政策集団としての成果も期待できます。

事実上、地方分権時代に入っているわけでありしますので、そういう認識のもとで特別委員会の活動展開を図っていく

必要があります。

## 所管事項と目的

①新町まちづくり計画に関すること。

②梅生育障害対策に関すること。

③黒潮フルーツラインに関すること。

以上、梅の里まちづくり政策等の各計画及びこれに関連する計画に対し、総合的に調査・検討を加え、対応する委員会です。

委員長 小川 猛  
副委員長 園 俊  
委員 平松 泰一  
岡 克己  
岡 和雄  
岡 政吉  
村上 頼男  
村上 栄次  
北谷 清治  
宮崎 常二  
下村 勤  
田中 昭彦  
寺本 三直  
寺本 文雄  
山中 邦夫

(議席順)

## 議会広報特別委員会

委員長 山中 邦夫  
副委員長 下村 勤

6人

### 議会だより「みなべ」を編集・発行します。



(左から) 田中、平松、下村、山中、北谷、園出の各委員

## あとがき

合併後初の『議会だより』がやっと発行できました。早いもので、『合併丸』が船出して4ヶ月が経ちます。議会としても合併してよかったと思っただけの努力は今も

継続中です。県下でもまだに『お手本』とされています。他方で『自然の猛威』や『三位一体』の波が押し寄せてきております。今こそ心をひとつにして乗り越えなければならぬときでしょう。共に頑張りたいと思います。